

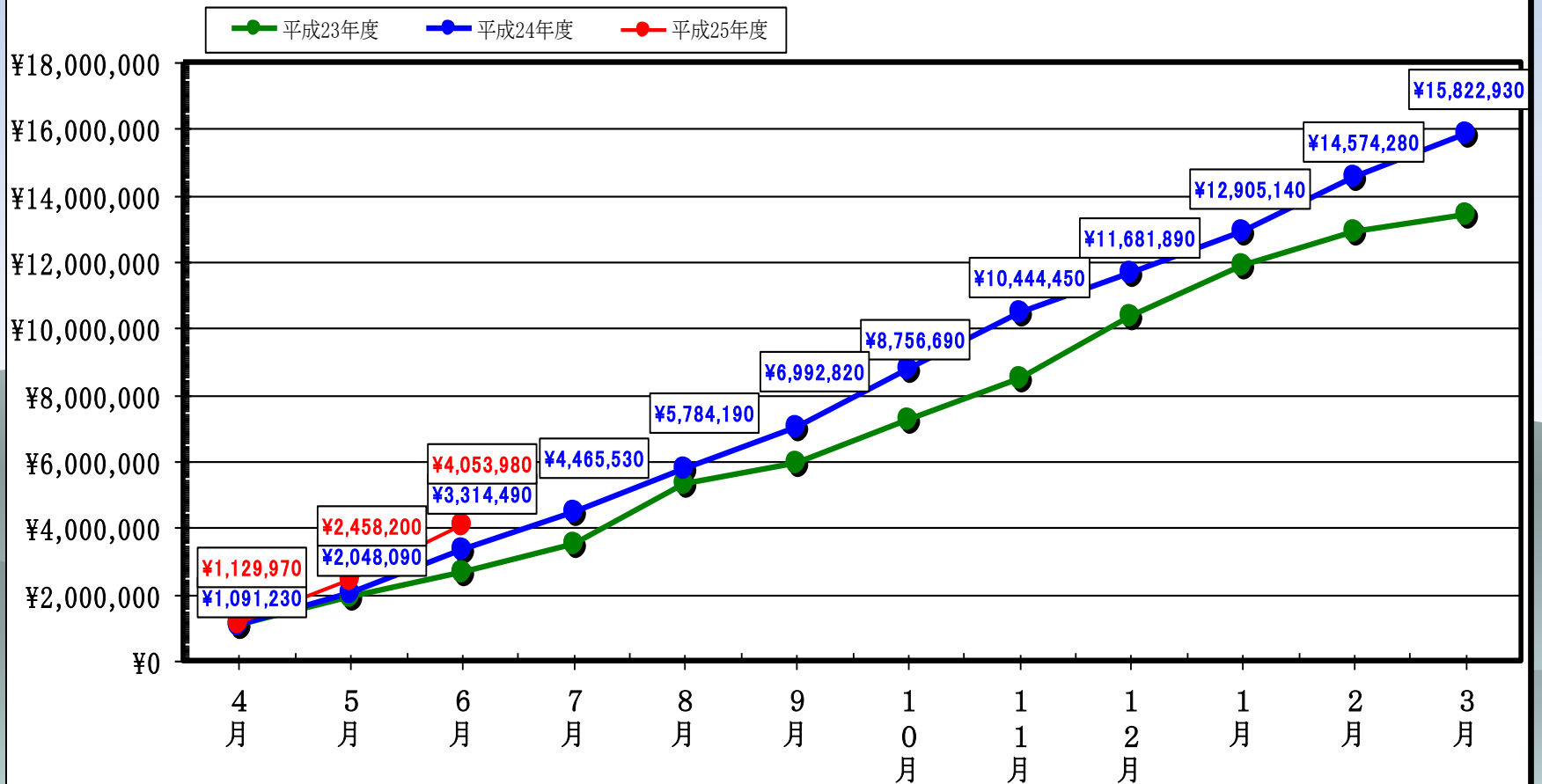
婦人科チーム医療 勉強会

査定・過誤0を目指して

事務部発表 H25.9.12
岩屋

査定・過誤の増加

査定額積上推移



査定・過誤が増加している理由

- H23年からレセプトの出し方が変わった
 - ・ H22年までは各科ごとに出していたが、H23年からは、一人一枚ごとに出るようになった為、他の診療科の検査との兼ね合いなども細かく見られ、査定されやすくなった。
- 査定する人達が厳しくなった
 - ・ 事務サイドからみても、なぜ引かれるのか分からない査定が増えている。

査定・過誤が増加している理由

●H24年から縦覧点検が始まった

[縦覧点検とは・・・]

さかのぼって半年間のレセプトを並べて、この検査をする必要があるのかなど、見比べる。

・縦覧点検が始まってから、H23年までは、引かれなかったようなものが、引かれるようになった。

査定・過誤を減らす為に

- ◆ 外来査定が、どの科という訳ではなく、全体的に年々増えてきている為、その対策として、毎日、担当を決めて、前日の初診の人のリストを出して、病名をすべて付けるなど、少しでも査定・過誤を減らす為に受付全員で、対策している。

婦人科

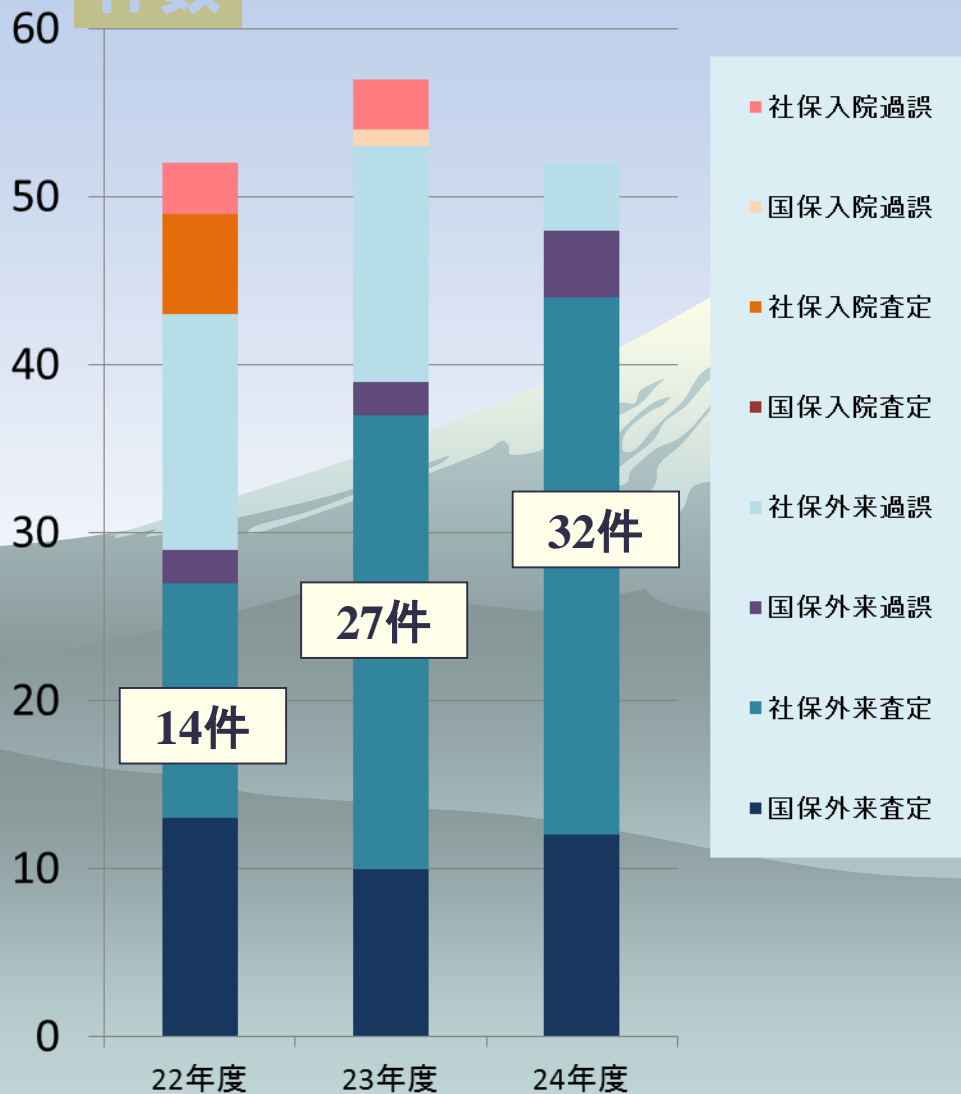
査定・過誤 経年推移

平成22年度～平成24年度
元データ医事過誤査定データ

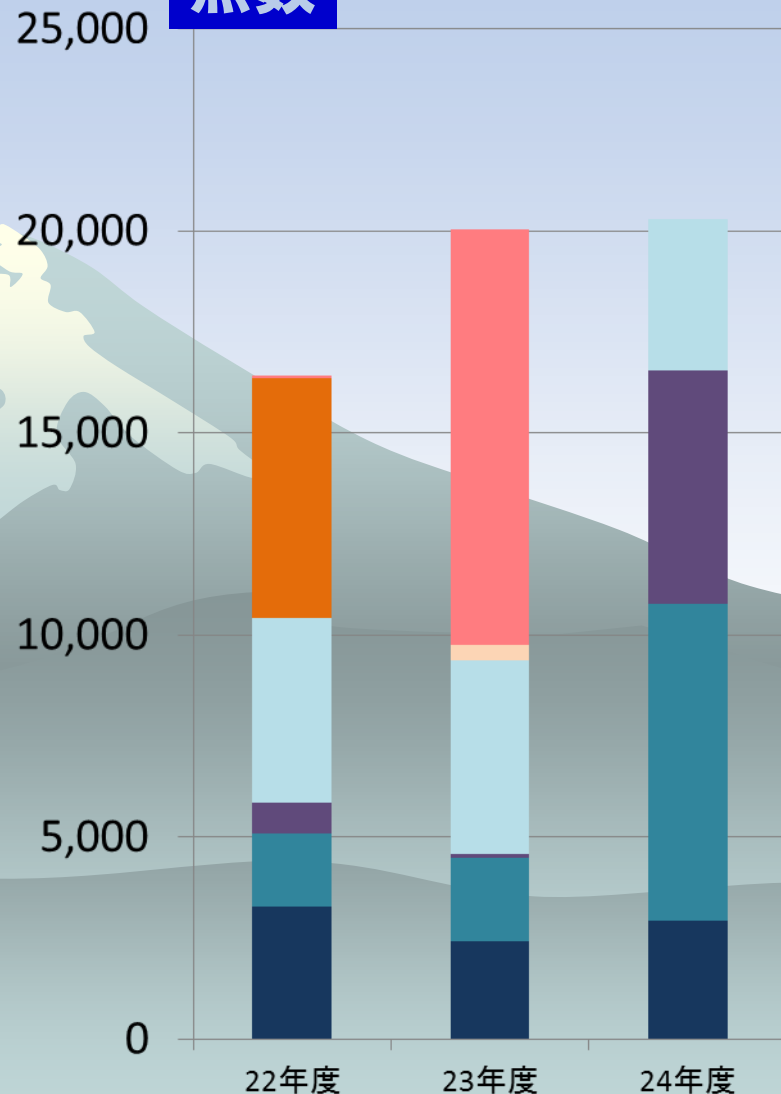
過誤 査定 内訳

婦人科

件数



点数



過誤 査定 内訳

婦人科

点数

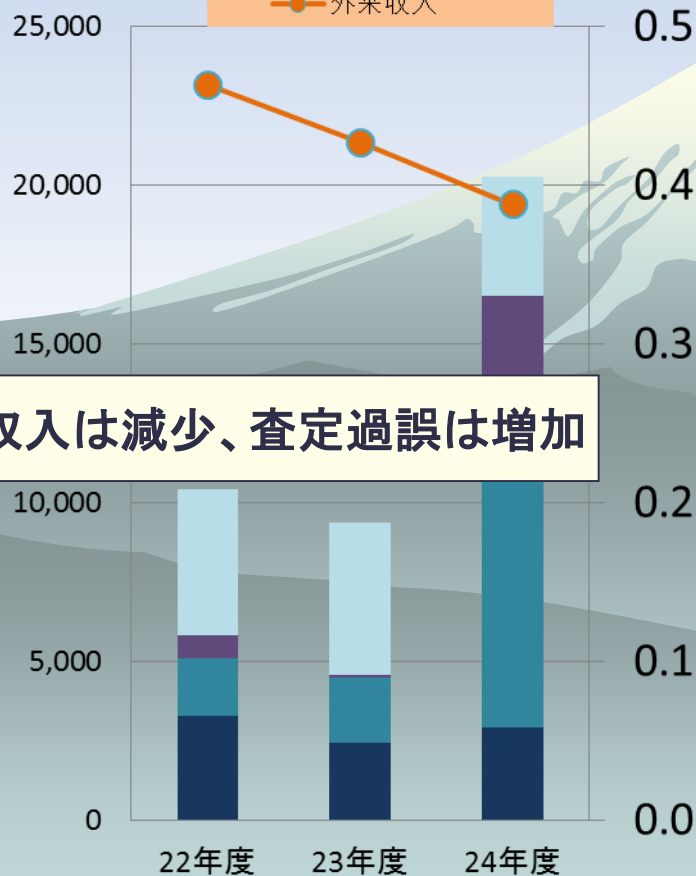
外来収入
(億)

点数

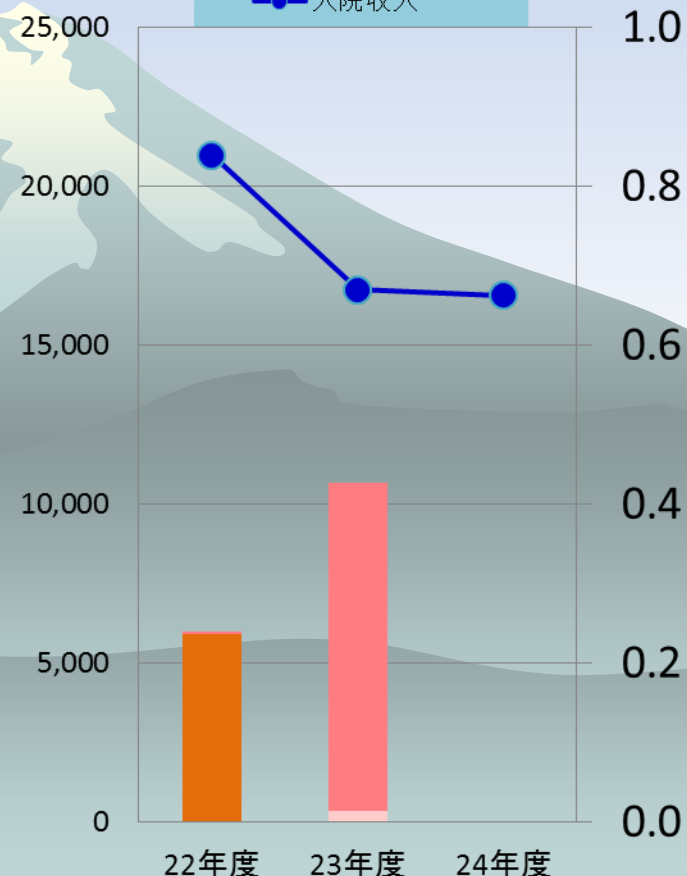
入院収入
(億)

- 社保外来過誤
- 国保外来過誤
- 社保外来査定
- 国保外来査定
- 外来収入

- 社保入院過誤
- 国保入院過誤
- 社保入院査定
- 国保入院査定
- 入院収入



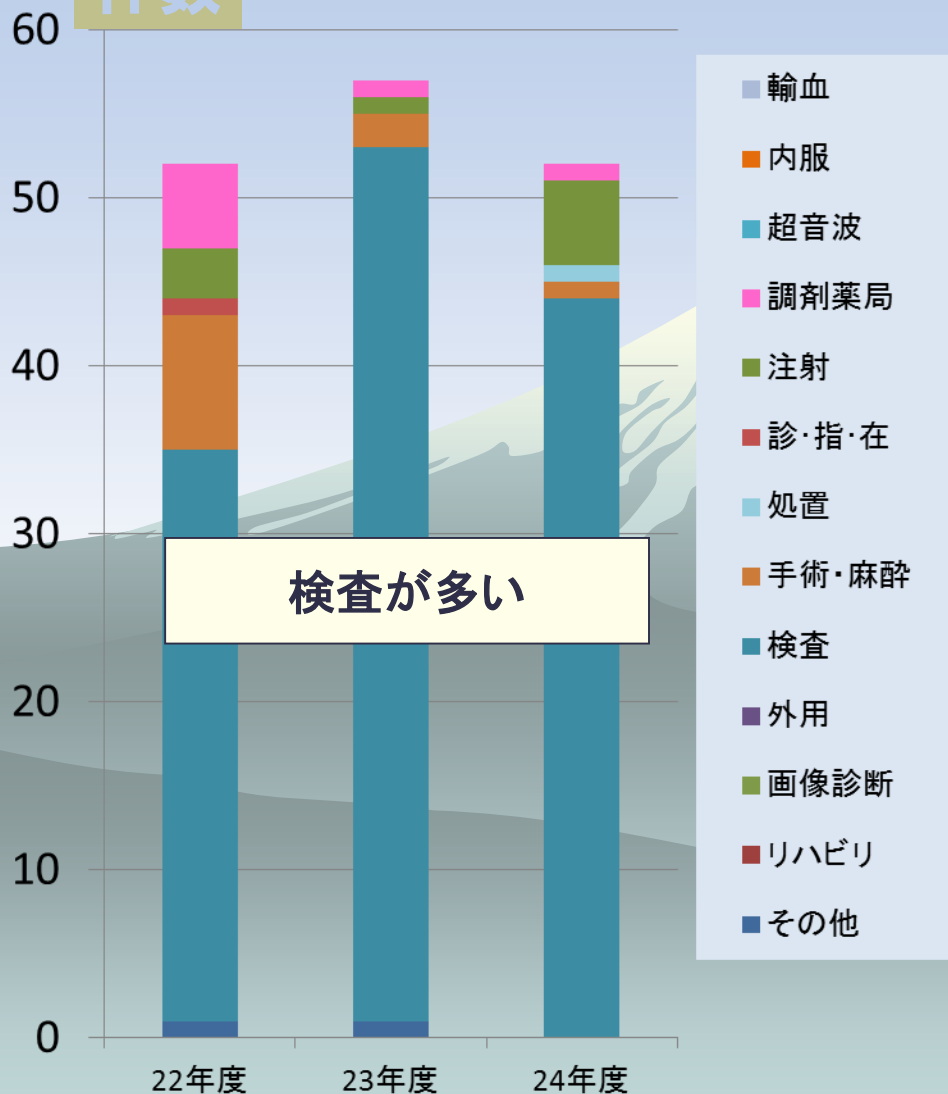
収入は減少、査定過誤は増加



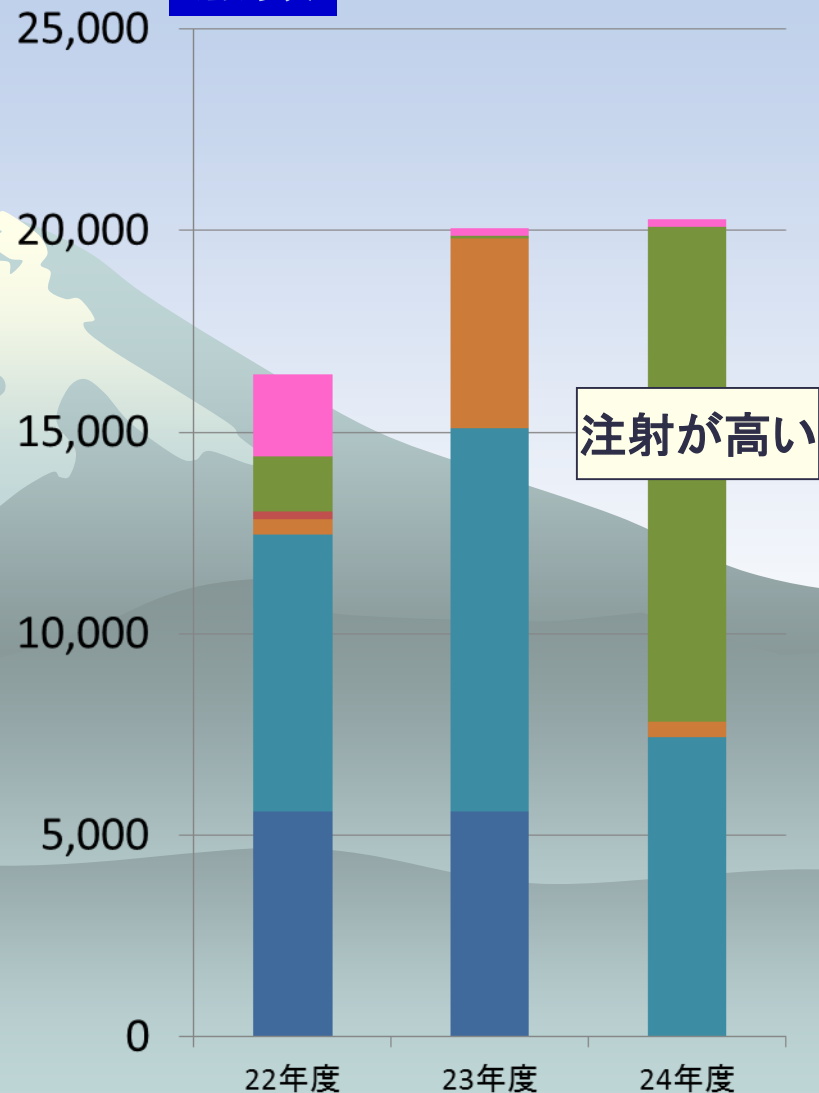
行為別 過誤 査定 内訳

婦人科

件数



点数



件数に対する対策

- ◆ レセプト点検の時に、同時算定出来ないものや病名を付けてほしいものを紙に表示してもらおう。(べてらん君の設定)
- ◆ 一番最後の最終チェックとして、レセプトが終わってからリストを出して、確認をする。

点数が高いものに対する対策

【注射】

- ・病名やレセプトコメントのチェックだけではなく禁忌病名がないかなど、細かいところまで、チェックする。

●注射の種類

リュープリン・ゾラデックス・HMG注テイゾー

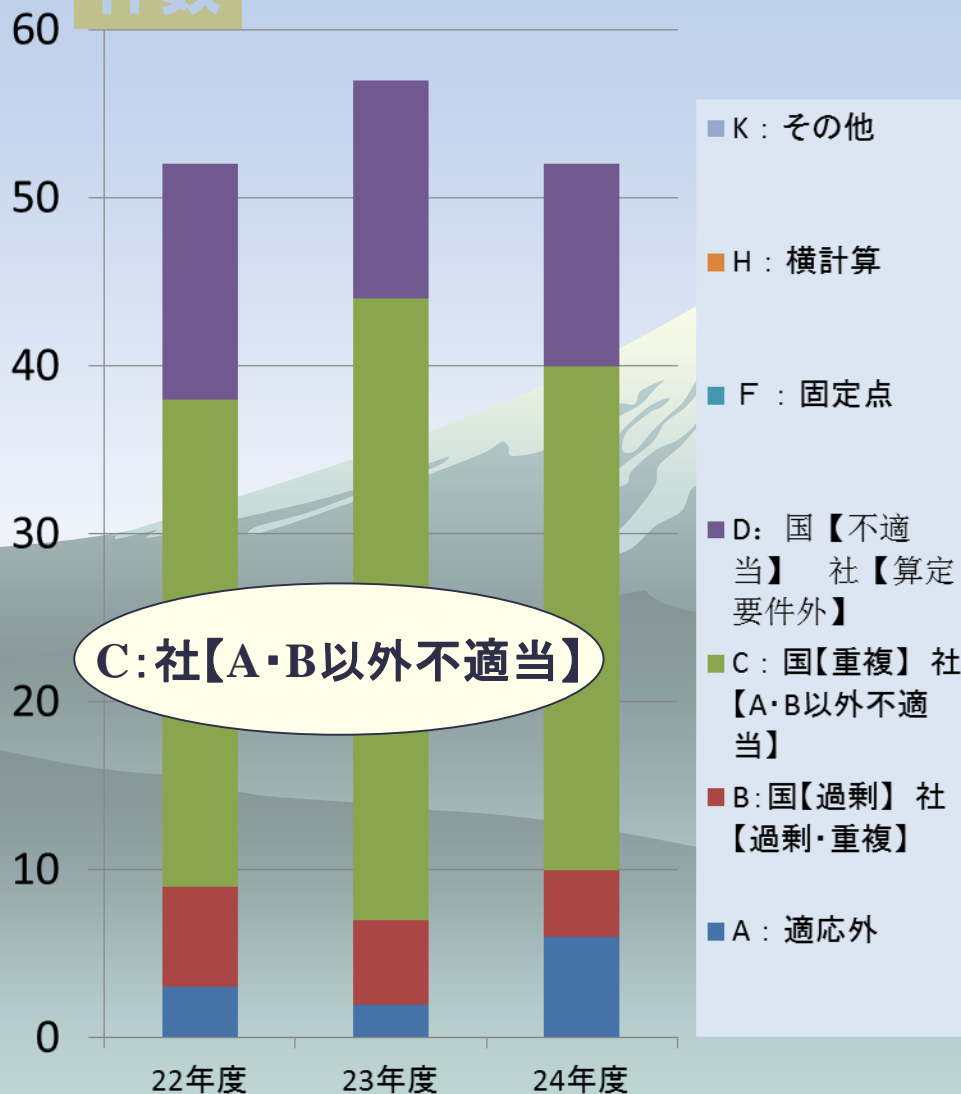
- ・査定された注射はすべて、必要があって施行されている為、Dr.に病状詳記を依頼し再請求をしているが、復活することも、原審通りのこともある。

→査定されないよう、レセプト点検時に最終確認をしっかりとる。

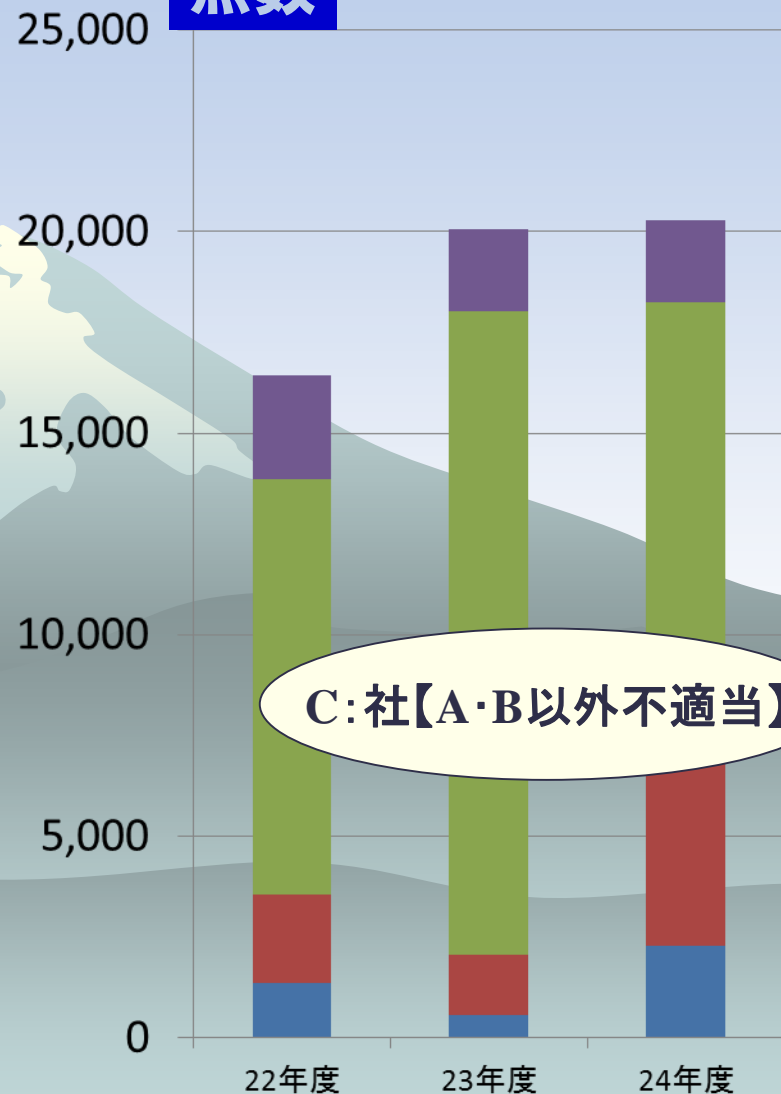
理由別 過誤 査定 内訳

婦人科

件数



点数



社保の査定理由

社保

- A. 医学的に適応と認められないもの
- B. 医学的に過剰・重複
- C. A・B以外の医学的理由により適応と認められないもの
- D. 告示・通知の算定要件に合致していないもの

Cの理由

【例】

- ・同日に同一部位の細胞診と病理は、一緒に算定出来ない。
- ・細胞診と子宮内膜組織採取を算定する時は、子宮頸管粘液採取は算定出来ない。
- ・手術をしている時は、子宮腔部組織採取は算定出来ない。

推移 国保と社保 入外別

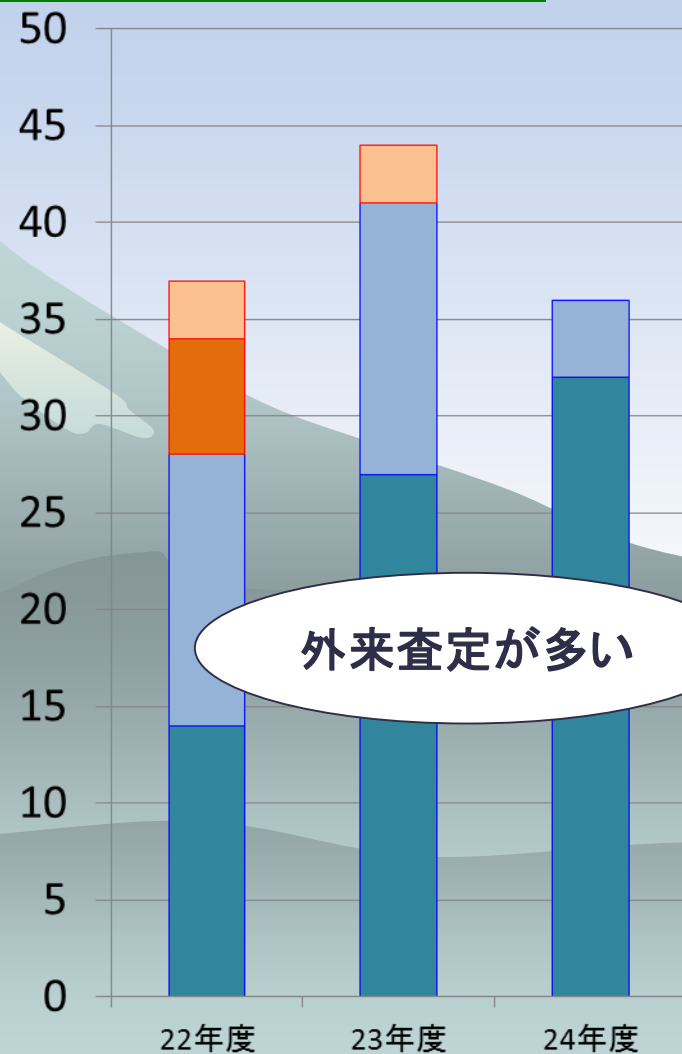
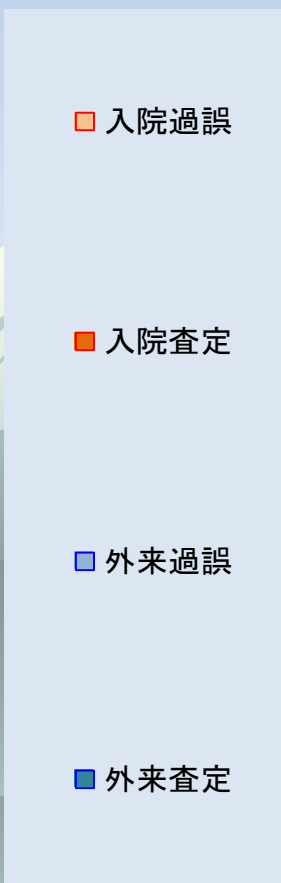
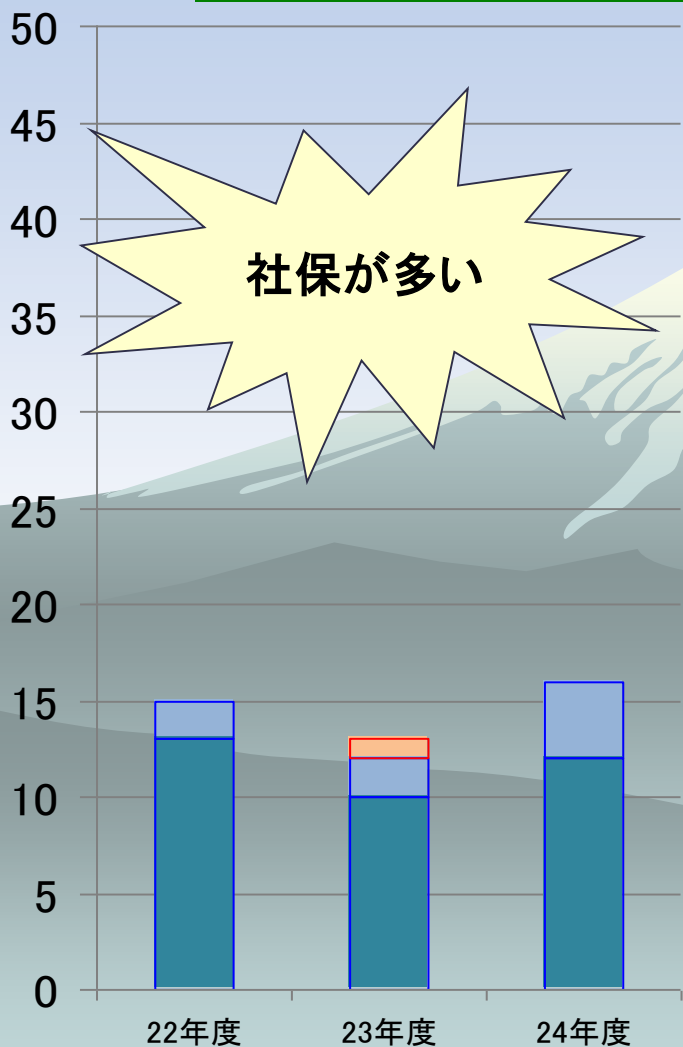
件数

婦人科

国保

V S

社保



推移 国保と社保 入外別

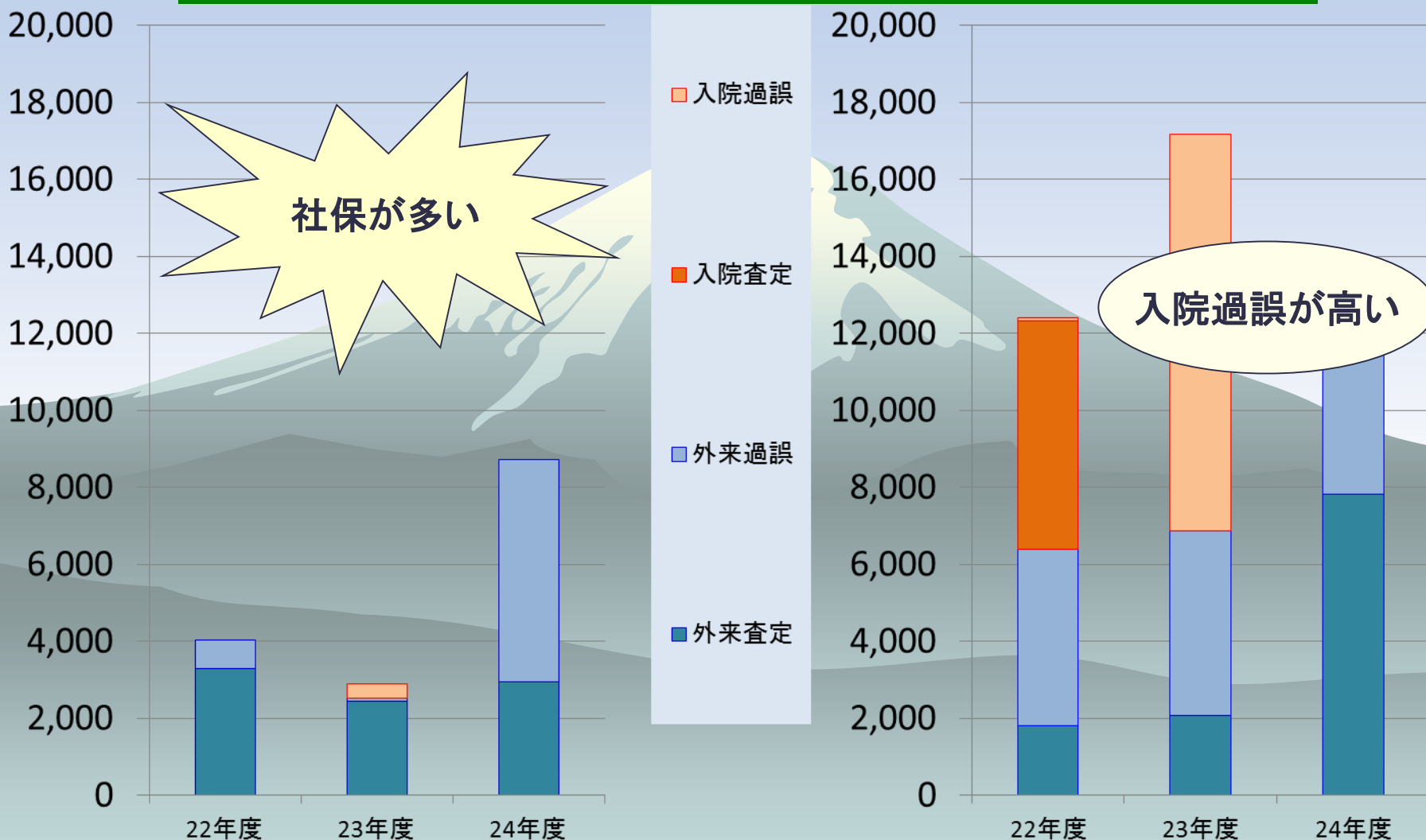
点数

婦人科

国保

V S

社保



最後の対策

- ◆ 受付ミーティングの時に、日々の計算時に注意してほしいことや、レセプト点検時に注意してほしいことを伝える。
- ◆ 受付ミーティングで、再度、注意事項などを全員に確認してもらおうよう、勉強会も行なう予定。
- ◆ 査定・過誤を減らし、収入アップにつながるよう努力していきたい。
- ◆ 先生方もご協力よろしくお願ひします。